

4. 主要建設資材の需要動向

(1) セメント

記事提供：(一社)セメント協会

北陸3県における令和元年度第1四半期のセメント出荷状況は前年同期比▲4.7%、5四半期ぶりにマイナスに転じた。

新潟県

前年同期比▲3.7%となった。柏崎刈羽原子力発電所地盤改良工事等は継続しているものの、上越道拡幅工事はピークアウトしている。主需要部門別は生コンクリート向け同▲6.7%、コンクリート製品向け同▲2.6%、その他土木向け同▲31.3%。

富山県

前年同期比▲10.1%となった。前年からの反動減となった。主需要部門別は生コンクリート向け同▲7.1%、コンクリート製品向け同▲4.3%、その他土木向け同▲49.2%。

石川県

前年同期比▲2.4%となった。北陸新幹線向けの需要は継続しているものの、ピークアウトしている。主需要部門別は生コンクリート向け同▲2.5%、コンクリート製品向け同+2.8%、その他土木向け同+25.0%。

セメント出荷量（令和元年度第1四半期）

(単位:t、%)

	平成30年度	平成30年度			令和元年度
		7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月
新潟県	711,691 10.8	190,094 3.6	207,538 12.9	131,575 21.1	175,739 ▲ 3.7
富山県	346,389 12.0	97,847 16.1	96,485 5.3	68,043 19.0	75,503 ▲ 10.1
石川県	479,095 11.8	114,904 2.3	132,305 7.5	113,127 24.6	115,925 ▲ 2.4
計	1,537,175 11.3	402,845 6.0	436,328 9.5	312,745 21.9	367,167 ▲ 4.7

(注)・上段は実績、下段は前年同期比

・集計は、会員5社のうち5社